



2020年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
(コード9419：東証第一部)
住 所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲オーシャンスクエア5階
代 表 者 代表取締役CEO 池田 武弘
問合せ先 取締役CFO兼CAO 原田 実
(TEL. 03-6433-2045)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2022年12月期を最終年度とする中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、ブロードバンド市場が今後さらに競争環境が激化していくことを想定し、事業環境の変化に対応するため、2018年度に販売体制の強化を図るべく主力サービスである「ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX」等の販売契約の見直しを行いました。この変化に対応すること等により、当社の収益率は大きく変化をしております。

こういった背景から、中期経営計画の策定に向けてかねてより検討を続けてまいりましたが、今後の新しい成長戦略をステークホルダーにお示しするべく、この度、中期経営計画を新たに策定することに至りました。

2. 中期経営計画の概要

対象期間：2020年1月1日～2022年12月31日（3ヵ年）

経営目標：2022年12月期（最終年度）

売上高 13,986百万円

営業利益 920百万円

※中期経営計画の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

当社は、「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、より創造性あふれる社会の実現を目指す。」という経営理念に基づき、独立性と透明性の高いガバナンス体制の構築と様々なステークホルダーとの適切な協働を通じて価値創造に配慮した経営を行いつつ、中長期的な企業価値向上を図り、広く社会に貢献することに努めてまいりますので、今後も皆様のご期待にお応えするべく、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

ワイヤレスゲート 中期経営計画 (2020年～2022年)

2020年2月13日
株式会社ワイヤレスゲート
(東証第一部:9419)

経営理念



**ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、
より創造性あふれる社会の実現を目指す。**

中期経営戦略: グループ経営方針

安定収益事業である BtoC 事業を堅持

成長事業である子会社「LTE-X」の事業拡大

新しい価値創造にチャレンジ

※本中期経営計画の計数目標には、
チャレンジ事業は織り込んでおりません

チャレンジ事業

成長事業
(LTE-X 事業)

安定収益事業
(BtoC 事業)

BtoC 事業の事業戦略

外部環境

- **ワイヤレスブロードバンド市場は、引き続き、厳しい競争環境**
- **通信インフラや通信端末の成熟により、通信サービス周辺でのビジネス機会拡大**

事業戦略

- **通信サービスのブラッシュアップ**
- **販路拡大**
- **通信サービス以外の周辺サービスの提供**

戦略イメージ

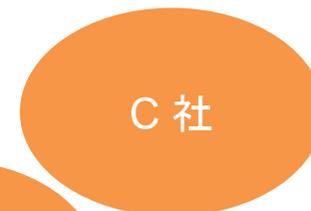


提供サービス



事業サイズの
底上げ・拡大

販路



BtoC 事業の進捗

- 通信サービスのブラッシュアップ
 - WiMAX サービスの強み訴求
 - レンタル Wi-Fi サービスの積極展開
- 販路拡大
 - オンラインマーケティングの販売拡大
 - 新規大手販路開拓(2018年:1件、2019年:1件)
- 通信サービス以外の周辺サービスの提供
 - エンドポイントセキュリティサービスの販売拡大
 - 保証サービスなどの金融系サービスの取り扱い開始

成長事業(LTE-X事業)の事業戦略

外部環境

- ・サイバーセキュリティ対策に対するニーズの増大
- ・ローカル5Gなどのプライベートネットワーク実現のための法整備完了

事業戦略

- ・「LTE over IP」を用いたサイバーセキュリティソリューション事業
- ・EPC(LTE Coreネットワーク)構築ノウハウを活用したプライベートネットワーク構築支援事業

LTE over IP 技術



LTE の特長

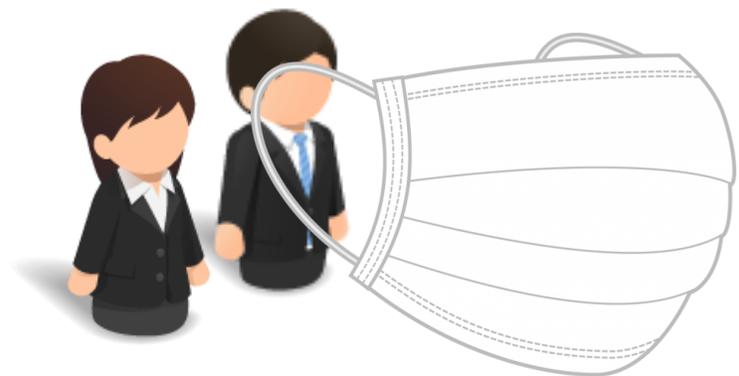
悪意のある端末の排除 通信内容の盗聴防止 不正サイトへのアクセス管理

+

LTE over IP
の特長

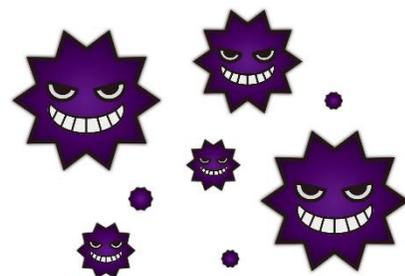
機器の多様性 通信コストからの解放 設備投資コストの圧縮

既存のセキュリティソリューションとの違い

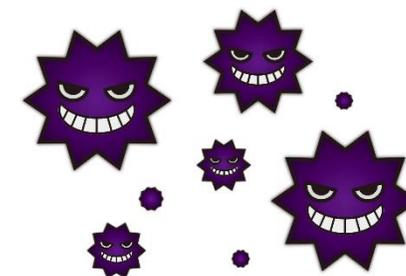


通常のセキュリティ
(エンドポイントセキュリティ)

自分の身体は自分で守る



安全な環境



LTE over IP のセキュリティ

安全な環境をその場につけてあげる

LTE-X ビジネスモデル ①

**クラウド型
端末管理・セキュアアクセス事業**

【収益モデル】

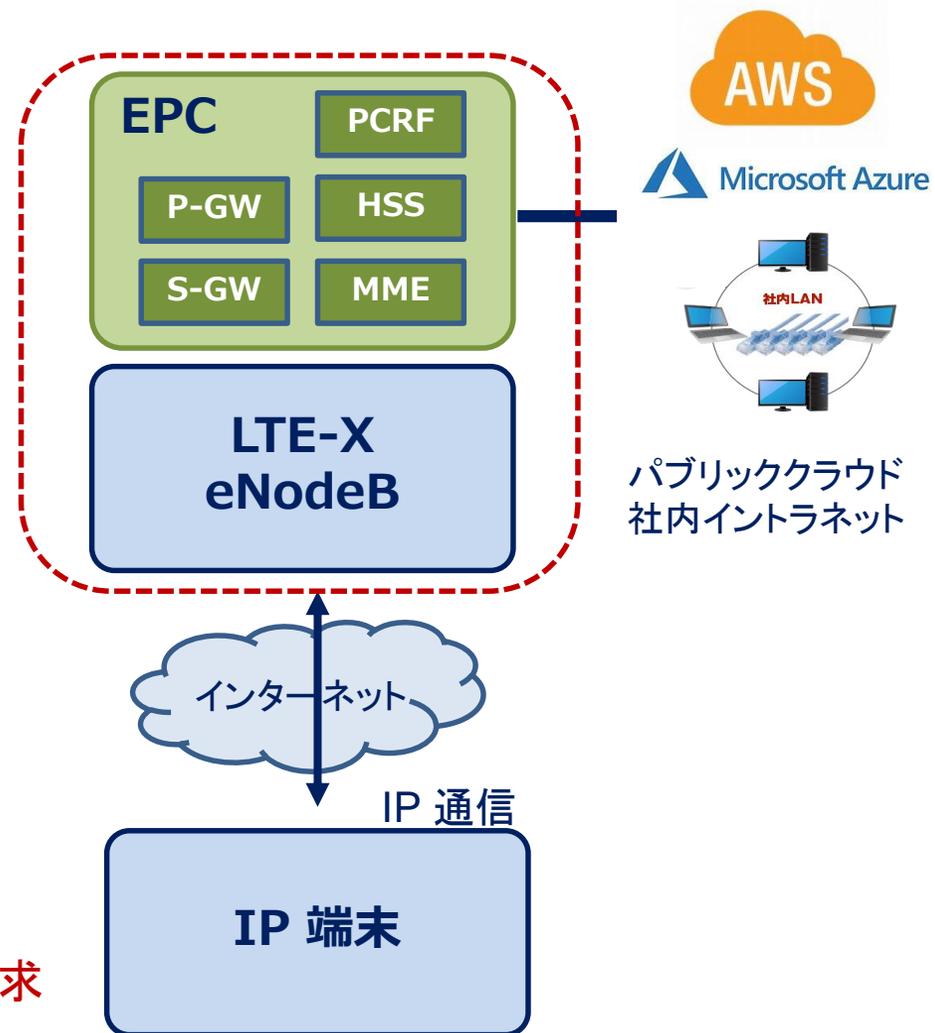
月額サブスクリプションモデル
(EPC/ eNodeB の利用料)

【原価】

EPC/ eNodeB の減価償却費

LTE-X データ
センター内の
共有設備

端末数分の費用を請求



クラウド型 端末管理・セキュアアクセス事業

- リモートワークソリューション
- 教育 ICT ソリューション
- ネットワークカメラソリューション
- 拠点間 VPN 代替ソリューション(工場、病院など)
- 機器リモート監視ソリューション

LTE-X ビジネスモデル ②

プライベート LTE 事業

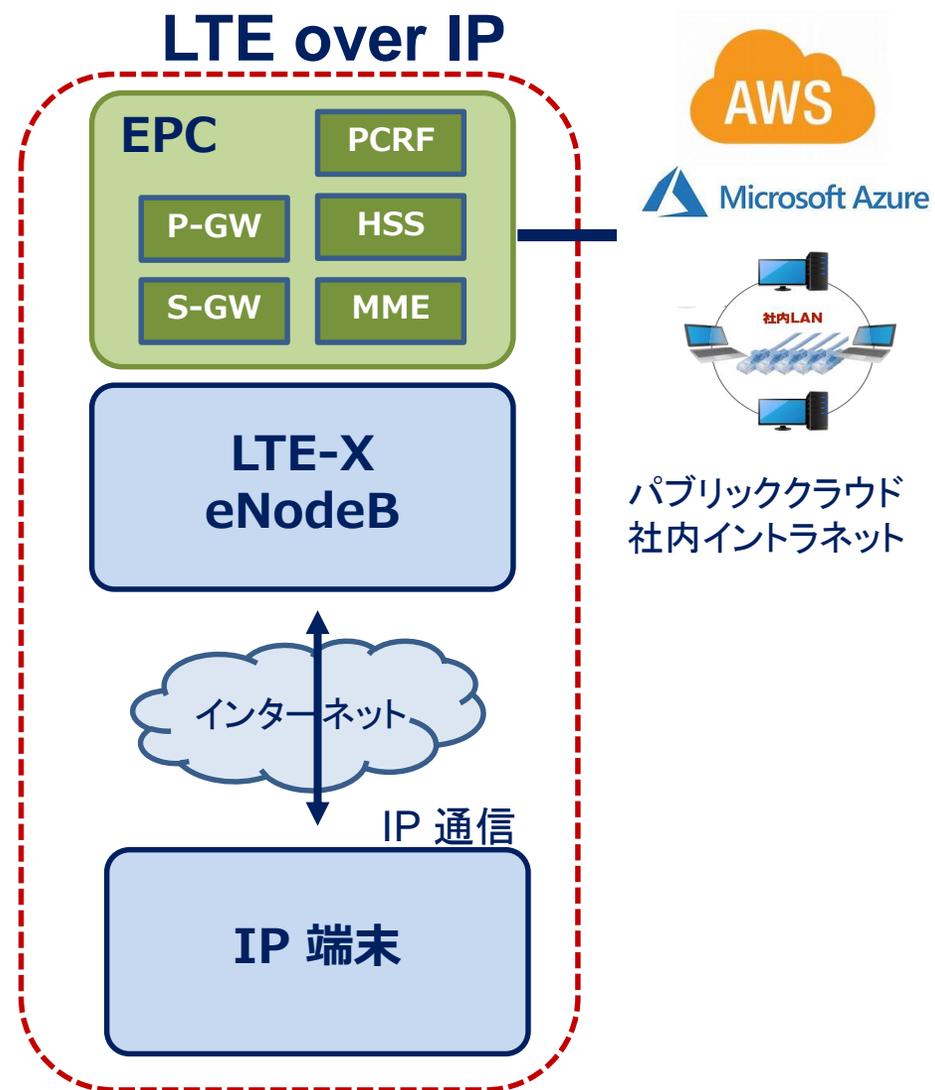
【収益モデル】

- ・ コンサル/設計費用
- ・ ソフトウェアインストール済機器販売
- ・ 保守/運用費用

【原価】

- ・ 人件費
- ・ ハードウェア調達費
- ・ 外注費用

顧客専用の
設備として提供



プライベート LTE 事業

- プライベート LTE (ローカル5G/自営BWA/Wi-Fi) 構築支援事業
- 構内 PHS 代替ソリューション
- EPC 販売

LTE-X 事業への経営資源の集中

- 持ち株比率の向上
- ガバナンス体制の強化
 - 執務スペースの分離(オフィス移転済 2020年1月)
 - 予実管理の徹底

チャレンジ事業の事業戦略

※本中期経営計画の計数目標には織り込んでおりません

外部環境

- ・ AI、ロボットなどの周辺技術の成熟
- ・ 労働力不足の深刻化
- ・ セキュリティリスクの増大

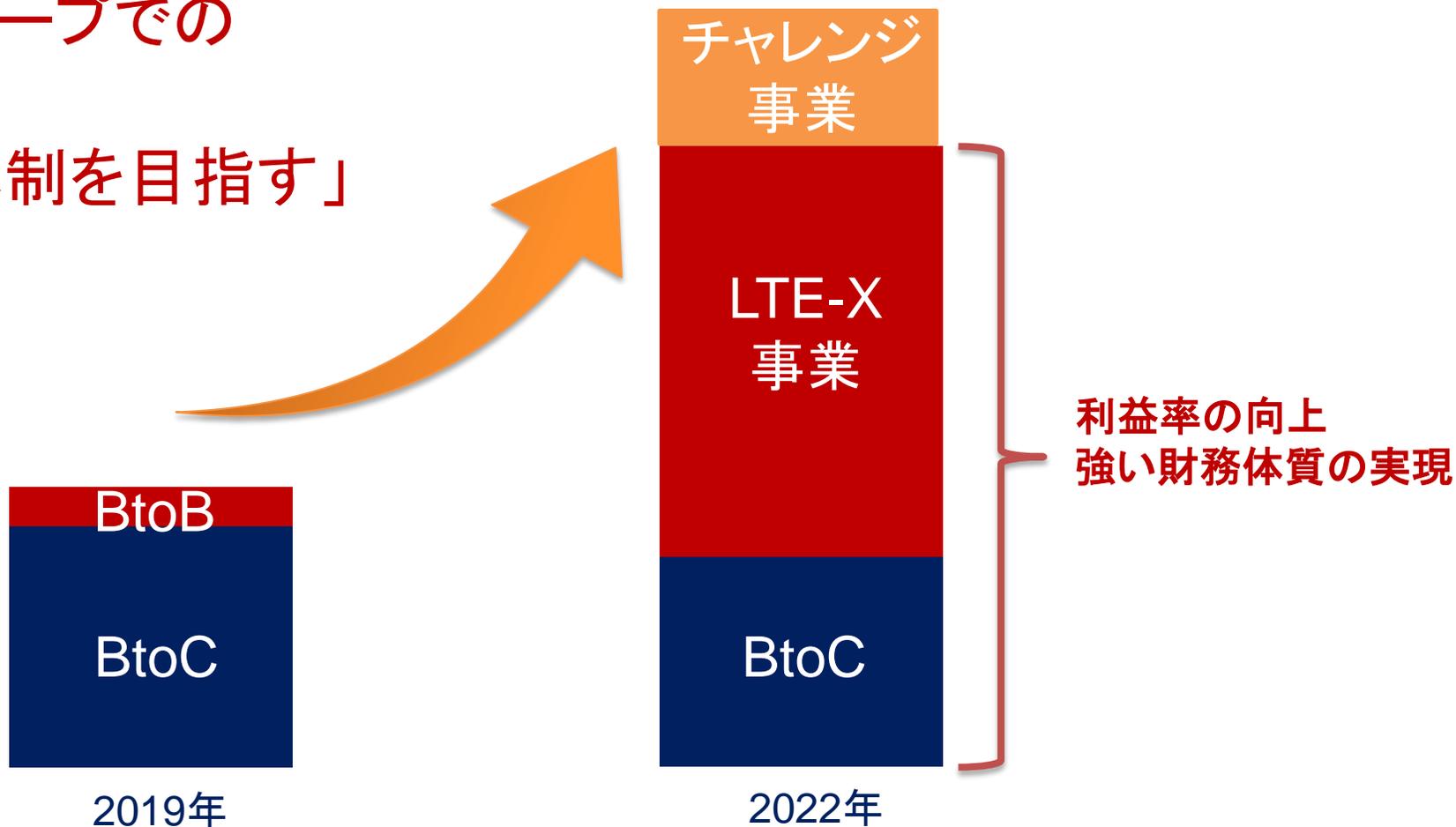
事業戦略

- ・ ワイヤレスゲートグループが持つ通信インフラ、セキュリティプラットフォームなどの強みを活用した付加価値を創造

事業成長イメージ(利益率の向上)

※今回の数値計画に、チャレンジ事業は織り込んでおりません

ワイヤレスゲートグループでの
利益率の向上を実現
「筋肉質なグループ体制を目指す」



2022年12月期の数値計画

(百万円)

		2019年12月期 (参考)	2022年12月期 (計画)
売上高	連結	11,329	13,986
	WG	11,146	10,925
	LTE-X	183	3,061
営業利益	連結	97	920
	WG	169	191
	LTE-X	▲73	729

ESG の取り組みについて

ESG (Environment/環境・Society/社会・Governance/ガバナンス)に関する課題に積極的に対応し、社会への貢献と共にワイヤレスゲート・グループの持続的な成長を目指します。

Environment/環境

- ・ 当社創業以来、ワイヤレス通信サービスの提供を通じて有線ケーブルの消費を減らし、環境負荷の軽減を目指します。
- ・ リモートワーク環境の推進により、公共交通機関の利用を減らし、地球環境保護につとめています。

Society/社会

- ・ 当社創業以来、残業のない職場を目指す取り組みを続けています。
- ・ ワイヤレス通信社会の実現により時間の有効活用を進め、ゆとりある生活を築きます。

Governance/ガバナンス

「監査等委員会設置会社」へ移行

「指名・報酬委員会」の設置（※代表取締役は委員ではありません）

将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。